

「キャスト＝スタッフ×」「キャスト＝お年寄り&スタッフ」

神奈川県藤沢市
 デイサービスいどばた
 副管理者 小池みゆき

1 はじめに

高齢者の「お世話」をするというイメージがつよい介護保険ですが、「第2条2項」や「第4条」にあるように「要介護（支援）状態の軽減または悪化を防止し、国民は常に健康の保持増進に努め、その維持向上に努めるものとする（要約）」とあるように自立の支援を行う努力と義務があることをサービス提供する中で忘れてはいけないことだと思います。身体的にも精神的にも自立し高齢になっても地域社会に生きるひとりとして自立することを支えるのが私たち「ケアする人」の仕事ではないでしょうか。

しかし多くの場合高齢者の「身体の健康」を保つことのみが仕事のようになり、「管理・支配」的なケアを目にすることが多いです。介護の仕事を目指す人は「介護で一発当ててやろう」という人は少ないのではないのでしょうか？簡単な理屈ですが「人の役に立ちたい」という想いを持って介護の現場に飛び込んだやさしい心を持った人材が管理や支配をさせられれば精神的に疲弊して現場を離れてしまいます。「自立の支援」と「自立した介護職」が共生した職場を作らなければ、超少子高齢化社会をむかえる介護現場は「世話になる高齢者」を生み出し「志ある介護職員がいなくなる」という負の連鎖がおこります。

2 事例や取り組みの紹介

「元職人コンビの大活躍」…要介護のついでにおじいちゃんのツートップ

S田さんは元表具屋さん、S木さんは元植木屋さん。自宅では鬱々としていていどばたを利用し始めたお二人が特技を活かして大活躍する。鋸にカンナ、脚立に刈り込みばさみ…スタッフやほかの利用者さんにも「指導」しながらとっても生き生きとした姿を見せてくれます。

「10年以上続いているいどばた味噌づくり」

毎年、豆からづくり1年間寝かせてつくる「いどばた味噌」の生産報告。きれいにパッキングして自宅に持ち帰ったり、芋煮会や普段のレクでたべたりと年々本格的になってくるデイサービスのお味噌づくり。

「ガレージセールで目標〇万円！」

一番の自立支援は「金儲け」だと思っています。自分で稼いで自分で使う！高齢者は知的資産で労働資産で経済資産です。年3回ほどのガレージセールでじいちゃんばーちゃんパワーがさく裂します。

3 考察

高齢者は世話になる存在だ…なんてとんでもない。

めちゃくちゃカッコいいその姿を見ていると本当に頭が下がります。そしてこの高齢者への尊敬の気持ちを持てることが介護職員のモチベーションにつながるのではないのでしょうか？

ディズニーランドではキャストがゲストを楽しませますが、介護保険事業所はスタッフとお年寄りが地域社会を楽しませることによって「見る・みられる」の関係から脱却できるのではないのでしょうか？それによってお年寄りは幸福度と自立度が、介護職員は幸福度と専門性が挙がると考えます。

4 おわりに

発表の写真に出てくる私の娘は小学校から職場に出入りしていて高校卒業後に自分で決めた進路がデイサービスいどばたで働くことでした。今では孫がおとしよりに一緒に遊んでもらったり、お昼寝したりお風呂に入ったりしています。「子どもの成長には高齢者がひつようだ」とシュタイナー教育で有名な哲学者の言葉がありますが毎日実感しています。